

診療科目： 放射線科

カテゴリー： 選択科目

一般目標： 放射線科における診断及び治療の全般にわたる一般的放射線診療の基本能力を修得し、臨床放射線科医としてわきまえておくべき放射線医学の知識を理解する。

担当科： 放射線科

期間： 2か月

#### A．指導体制

##### 1.スタッフ

役割	氏名	職名	医師登録年月日	指導方法の講習会受講
科目責任者	北川 清秀	診療部長	1976. 7. 1	無
指導医	関 宏恭	部長待遇	1982. 5. 29	無
指導医	堀地 悌	部長待遇	1986. 6. 25	無
指導医	川森 康博	部長待遇	1988. 5. 19	無
指導補助医	高田 治美	医長	2001. 5. 14	無

#### B．指導原則、方法

##### 1.放射線診療の基本的研修及び所見記述

- ( 1 ) 胸部X線を含む単純X線検査の報告書を作成する( 50 例)
  - ( 2 ) 腹部の典型的疾患の超音波検査の報告書を作成する( 20 例)
  - ( 3 ) CT 及び MRI 検査の基本的原理を学び、その適応を理解し報告書を作成する。( 各々10 例)
  - ( 4 ) 核医学検査の原理を学び、その適応を理解し報告書を作成する( 10 例)
  - ( 5 ) 放射線治療の基本原則と適応症を学ぶ( 10 例)
  - ( 6 ) 血管造影の基本技術を学ぶ( 5 例)
  - ( 7 ) IVR の適応及び手技について理解する( 10 例)
- ( 各種塞栓術、胆道系等 )

##### 2.カンファレンスに参加する

外科術前カンファレンス、胸部疾患カンファレンス、消化器疾患カンファレンス、中枢神経MRIカンファレンス、院内CPC等に  
参加する

##### 3.抄読会に参加し発表する

#### C．放射線科週間予定表

月	火	水	木	金	
午前	読影	超音波	超音波	核医学	放射線治療
午後	読影	読影	核医学	読影	放射線治療
IVR	IVR		IVR		

#### D . 科目責任者からのメッセ - ジ

放射線科の役割に理解を深めていただき、様々な疾患における検査の進め方や適応についての知識を持ってもらいたい。当院は3次救急指定病院となっており、救急疾患における画像診断やIVRについてもできるだけ経験していただきたいと考えています。また、放射線治療の役割についても正しい理解を深めて戴きたいと考えます。他科との緊密な関係のもとに初めて成り立って行く放射線科であり、臨床には大変重要で必要な科である事も理解していただきたい。